

## 取締役会の実効性評価

当社は、毎年、取締役会議長を責任者として、取締役会全体の実効性についての取締役会評価を実施することとしております。

本年度においては、より高いレベルの客観性と開示の充実をめざして、この分野の動向について広く最新の情報を有する外部コンサルタントを活用して実施いたしました。その結果、当社の取締役会の実効性は概ね確保されていると評価されております。

### ▶ 評価の概要

|           |  |
|-----------|--|
| 評価方法      | 外部コンサルタントを活用した自己評価アンケート方式  |
| 評価対象      | 取締役会   |
| 評価者       | 取締役（社外4名・社内4名）<br>監査役（社外2名・社内2名）<br>計12名                                   |
| 評価対象期間    | 2024年1月～2024年12月   |
| 評価項目      | ① 構成・運営<br>② 経営戦略と経営計画<br>③ リスク管理<br>④ 指名・報酬<br>⑤ 株主等との対話<br>⑥ 前年度の課題の改善状況 |
| アンケート実施期間 | 2024年12月24日～2025年1月10日   |

### ▶ 評価プロセス

・独立役員会にて外部コンサルタントを活用して実施方法、プロセスを審議し質問を策定

・取締役、監査役による自己評価アンケートの実施

・外部コンサルタントの集計分析をもとに独立役員会で評価を行い、課題を抽出

・抽出された課題を取締役に審議し、今後の取組み方針を策定

### ▶ 2024年度の評価結果及び2025年度の方針

以上の結果、取締役会の実効性は概ね確保されていると評価されております。

下記項目については対応すべき課題も見出されており、今後も取締役会の実効性向上に努めてまいります。

| 2024年度的主要な取組み/評価 |  | 課題                             | 2025年度の方針   |
|------------------|--|--------------------------------|---|
| 役員の研鑽とトレーニングの充実  | 社内役員向けの研修会を3回開催、また社外役員には現場視察や新事業施設の見学会を実施した。研修会は回数・内容とも改善の余地がある。   | 経営人材の育成                        | 2024年度の指名報酬委員会において検討された経営トップとして求められる資質や能力・経験を踏まえ、将来の経営トップの育成のための計画的取組みを強化する。    |
|                  |  | 役員の研鑽とトレーニングの更なる充実             | 研修会、現場見学、意見交換等適宜の方法により、将来の経営環境の変化や最新の経営課題に応じた一層の研鑽及びトレーニング機会の充実を図る。             |
| 取締役会の運営改善        | 取締役会議題の事前説明を社外役員へ行い、経営上重要な議題について取締役会以外のメンバーとの意見交換の場を設け、より充実した効率的な運営を実施した。重要議題の増加により十分な討議時間確保への更なる改善を行うべきである。 | 議題の徹底した再整理と重要議題の討議時間確保         | 議論すべき重要議題や新規の議題の増加傾向に対応して、議題の厳選と権限委譲の徹底を通じて必要な討議時間を確保し、一層タイムリーで充実した討議と意思決定に努める。 |
|                  |  | 経営戦略等についての必要な情報の提供等による討議の充実と深化 | 経営戦略等の重要議題について十分な情報を収集提供し、必要があれば取締役会以外にテーマに応じた討議の場を設置すること等により、全体として充実した討議を進める。  |
| 株主及び投資家への対応強化    | IRフェアへの参加、IR窓口の体制強化をはじめとした積極的な取組みを実施した。機関投資家等への対応も同様に進めるべきである。   | 株主との建設的な対話の継続                  | 株式の流動性の拡大、政策保有株式の縮減、NISAの普及、個人株主や外国人株主の増加等に対応し、株主の皆様との建設的な対話を継続強化する。            |